

改良型「トヨタFCHV」の低温始動走行評価結果 例

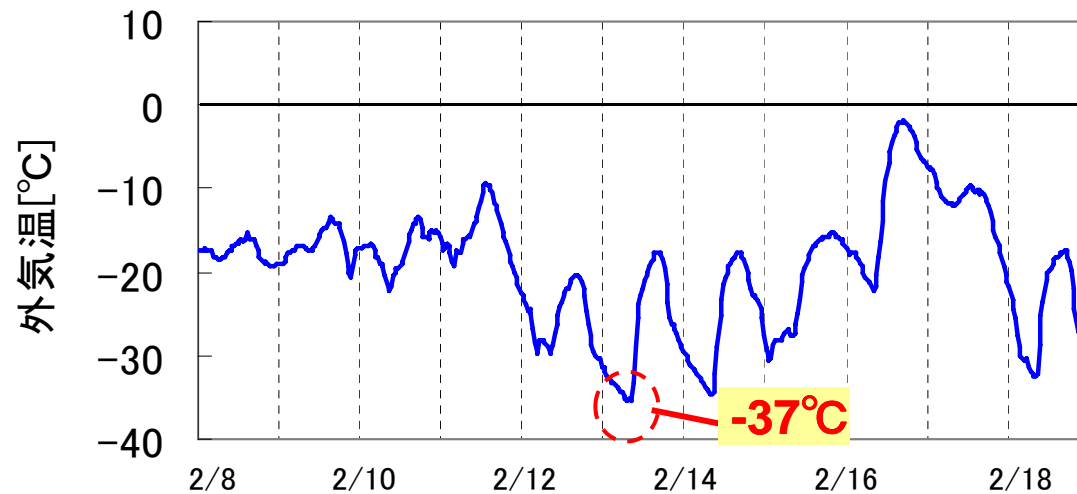


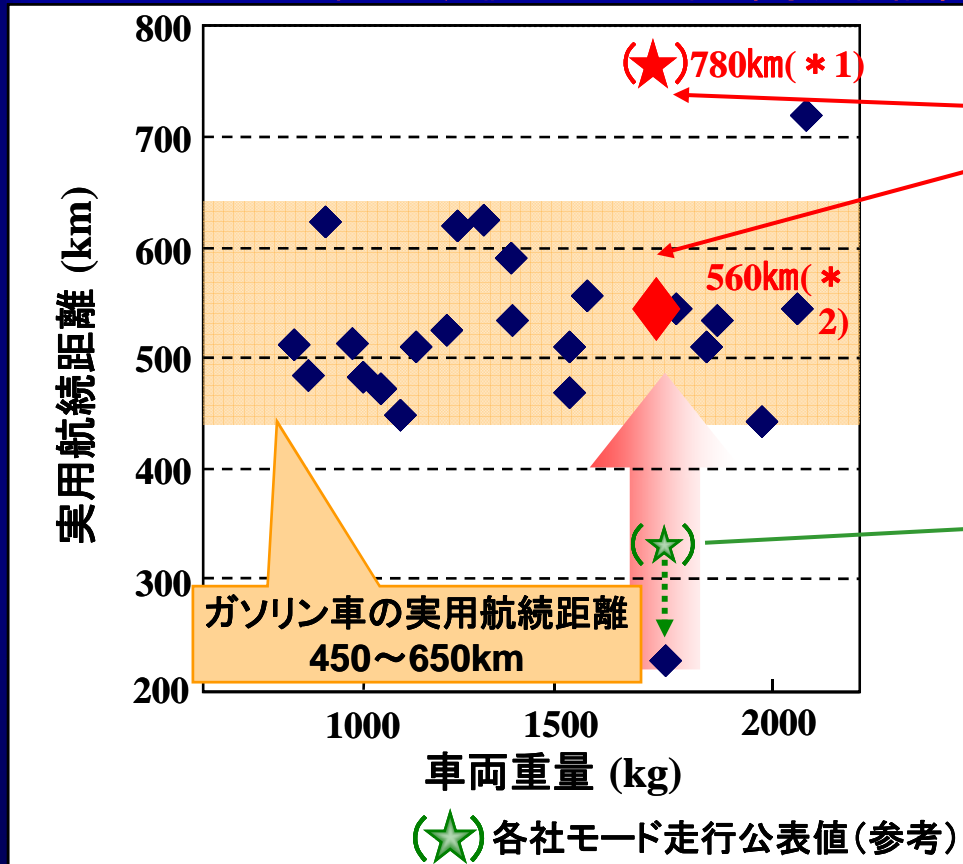
図. 評価期間中の外気温@Timmins(カナダ)



- ・最低気温-37°Cの極寒地でのFC環境適合性(氷点下始動性、運転性)を確認
- ・極寒の実環境の中、始動直後の動力性能もガソリン車同等のレベル
- ・FCユニットに関する大きな不具合は無し

トヨタのFCHVの航続距離

*1 10-15モード(社内測定値) *2 大阪-東京走行結果



改良型「トヨタ FCHV」



トヨタ FCHV('05)



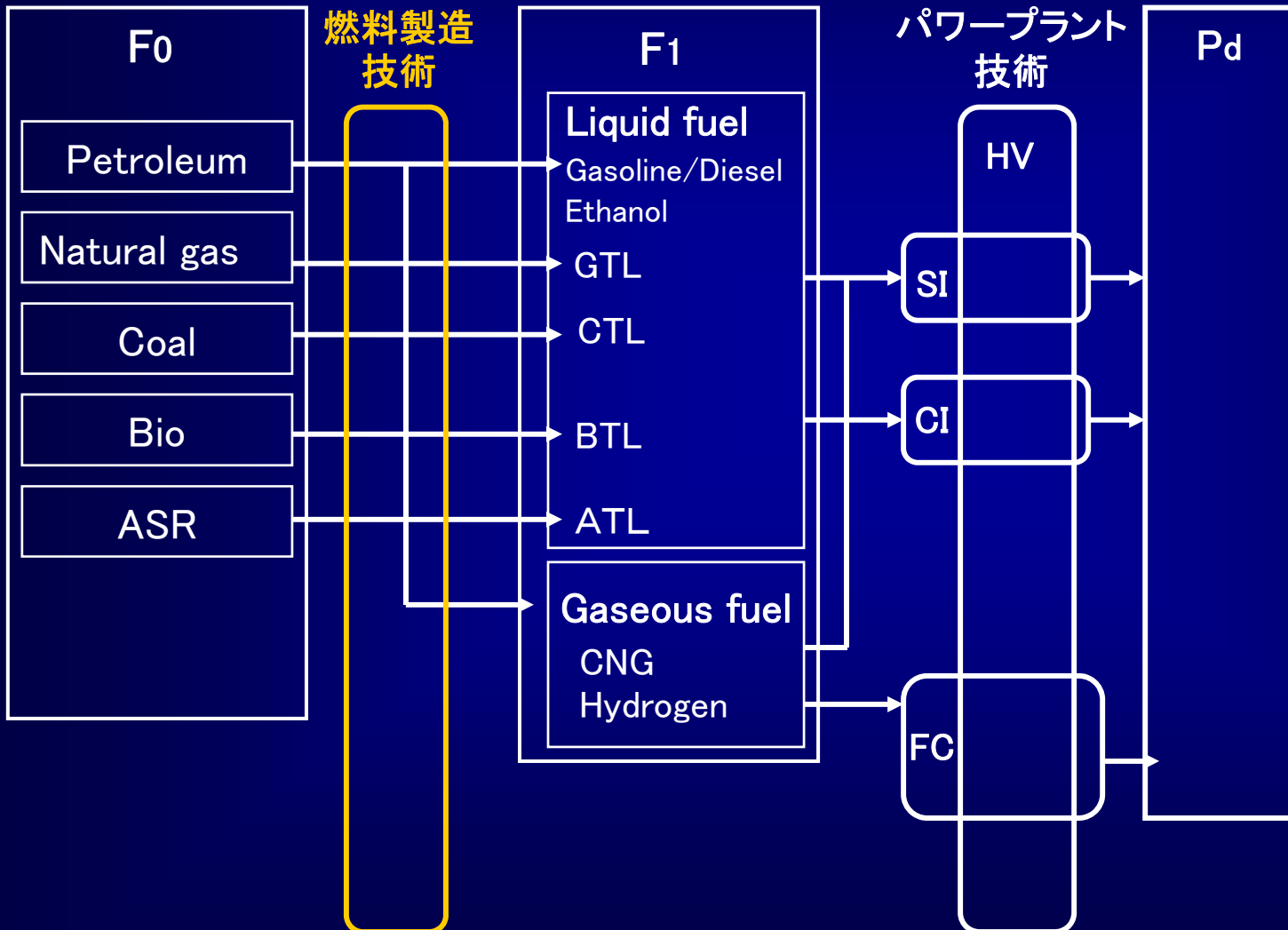
実用航続距離は、ガソリンエンジン車並みの500km以上が必要。
改良型「トヨタFCHV」は、'05モデル比 燃費約25%改良、水素搭載量約1.9倍
を達成し、大阪—東京間(約560km)を水素補充することなく、完走。

Challenge4 燃料製造工程における脱カーボン化とCO₂固定

1次エネルギーフロー

燃料フロー

駆動パワー



WTW CO₂発生量への製造時CO₂固定の影響

